藝大プロジェクト 2019 クラーラ・シューマン生誕200年に寄せて 第3回 Zu Glara Schumanns 200. Geburtstag Nr.3

GEIDAL

上野の森オルガンシリーズ 2019

オルガンが奏でる愛と告別の調べ

クラーラとローベルト、ブラームスらの書簡と共に



ドレスデン時代 (1844~1850) に夫妻がしばしば散策で訪れた ドレスデン郊外ラインハルツグリンマの村の教会のジルバーマン製オルガン

2019年10月20日(日) 15:00開演

(14:15 開場 14:30~ プレトーク 小澤 和子)

東京藝術大学奏楽堂(大学構内) 入場料 2,000円 (全席自由)セット券あり*

[お問い合わせ]

◇東京藝術大学演奏藝術センター TEL: 050-5525-2300 ◇東京藝術大学ホームページ https://www.geidai.ac.jp

主催:東京藝術大学演奏藝術センター・東京藝術大学音楽学部

《3つ前奏曲とフーガ》op.16 (1845)より

ローベルト・シューマン (1810~1856):

《ペダル·フリューゲルのためのカノン形式のエチュード》op.56(1845)より 《ペダル·フリューゲルのための4つのスケッチ》op58 (1845)より

《バッハの名による6つのフーガ》op.60 (1845)より

キルヒナー (1823~1903):《オルガンのための作品》op.89 (1890)より ブラームス (1833~1897):《フーガ》変イ短調 WoO 8 (1856)

《前奏曲とフーガ》ト短調 WoO 10 (1857) 《4つの厳粛な歌》op.121 (1896)より

《11のコラール前奏曲》op.122 (1896)より ほか

オルガン: 廣江 理枝 徳岡 めぐみ 近藤 岳 ソプラノ: 平松 英子 バリトン:萩原 潤 読:川中子 みのり 瀬戸口 郁

藝大プロジェクト2019 クラーラ・シューマン生誕200年に寄せて

(第1回東京藝大シンフォニーオーケストラ演奏会と第3回上野の森オルガンシリーズの入場券 +第2回レクチャー&コンサート入場整理券つき) 限定100セット 3,000円

*Bセット券 (第1回と第3回の入場券のみ) 3,000円

ハ券(限定100セット)、Bセット券(制限なし)の販売は −トル・チケットセンター(電話のみ)と 藝大アートプラザ(店頭販売)の2か所のみ

TEL: 03-5685-0650 https://eplus.jp

https://t.pia.jp 《Pコード:159 - 926 》

オルガンが奏でる愛と告別の調べ ―クラーラとローベルト、ブラームスらの書簡と共に

「上野の森オルガンシリーズ 2019」では、藝大プロジェクト 2019「クラーラ・シューマン生誕 200年に寄せて」の一環として、「愛と告別」をテーマに、シューマン夫妻、友人たち(ブラームス、キルヒナー)のオルガン作品・声楽作品を、書簡朗読を交えてお贈りいたします。クラーラは結婚後、ローベルトと一緒にオルガンを学び、ピアノでは表せない響きをとても好んだそうです。またドレスデン時代の 1845年、ローベルトから対位法を学び、ピアノ曲として出版されたクラーラの《前奏曲とフーガ》 op.16ではローベルトがフーガのテーマを与え、第3曲の自筆譜には「オルガン用にも」と記されています。彼女とブラームス(1833~1897) やキルヒナー(1823~1903)との交流においても、オルガンは重要な役割を果たしています。また、ブラームスは、1856年のローベルト、1896年のクラーラとの告別、そして自分自身との告別にも、オルガン曲で哀悼の気持ちを表しています。

本公演では、クラーラとローベルトの結婚から始まり、ローベルトの死、キルヒナーとの恋、そしてブラームスによる死の予兆と告別のドラマを、彼らのオルガン作品・声楽曲と、日記や書簡の朗読を通じてお聴きいただきます。シューマン研究者の小澤和子特別招聘教授・マティアス・ヴェント特別招聘教授の監修のもと、オルガン科教員に加え、ゲストに本学声楽科の平松英子教授、萩原潤准教授、また、朗読にはクラーラ役に川中子みのり氏、ローベルトとブラームス、キルヒナー役に瀬戸口郁氏をお迎えし、シューマン夫妻とその友人達の愛と告別を、豪華キャストでお楽しみいただきます。どうぞお聞き逃しなく!

廣江 理枝(東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻教授・主任)



オルガン 廣江 理枝 Organ Rie Hiroe

東京藝術大学大学院オルガン専攻修了。DAAD(ドイツ学術交流会)奨学金を得てハノーファーならびにシュトゥットガルト国立音楽演劇大学に 学び、ドイツ国家演奏家資格取得。オーデンセ、武蔵野市国際オルガン・コンクール最高位、シャルトル大聖堂国際オルガン・コンクール 第1位および聴衆賞。東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻教授・主任。



オルガン 徳岡 めぐみ Organ Megumi Tokuoka

東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業、在学中に安宅賞受賞。同大学院修了。ドイツ国立ハンブルク音楽大学を卒業。2001年シュニットガー国際オルガン・コンクール第1位および聴衆賞、ハンブルク音楽大学でDAAD賞受賞。2002年北ドイツ放送(NDR)音楽賞国際オルガン・コンクール第2位。東京藝術大学・東京音楽大学非常勤講師。豊田市コンサートホール・片倉キリストの教会・国際基督教大学オルガニスト。



オルガン 近藤 岳 Organ Takeshi Kondo

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。同大学音楽学部別科オルガン専攻、同大学院修士課程オルガン専攻修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてフランスに留学。オルガニスト、作・編曲家として活動。東京藝術大学音楽学部・国立音楽大学非常勤講師。日本オルガニスト協会理事。



ソプラノ 平松 英子 Soprano Eiko Hiramatsu

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了。DAAD奨学生として渡独。ミュンヘン音楽大学マイスタークラス修了。シュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭、ティボール・ヴァルガ国際音楽祭他に出演。H.プライ、G.シノーポリ他と共演。湯浅譲二、細川俊夫など現代曲も手がける。ジロー・オペラ新人賞受賞。東京藝術大学音楽学部教授。



バリトン 萩原 潤 Baritone Jun Hagiwara

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修了。二期会オペラ・スタジオ第41期修了時に優秀賞、平成15年度五島記念文化財団オペラ新人賞受賞。文化庁派遣芸術家在外研修員、五島記念文化財団奨学金によってベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学大学院に学び、最優秀の成績で修了。国内外で活躍。東京藝術大学音楽学部准教授。二期会会員。



朗読 川中子 みのり Reading Minori Kawanago (Soprano)

埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程声楽専攻(独唱)3年に在籍。これまでに声楽を佐々木典子、岡留昭氏の各氏に師事。ドイツで過ごした幼少期に音楽に興味を抱き、中学校の合唱経験を経て15歳より声楽を始める。「真実な言葉と音」というテーマのもとで演奏・企画・歌唱指導と幅広く活動。埼玉県立大宮光陵高等学校音楽科非常勤講師。



朗読 瀬戸口郁 Reading Kaoru Setoguchi

俳優・劇作家/文学座所属。慶應義塾大学文学部卒業。俳優として「女の一生」「華岡清洲の妻」など文学座の舞台を中心にTV、ラジオで活躍。 脚本作品に「食いしん坊万歳!」(文学座)「真砂女」(劇団朋友)「南の島に雪が降る」(劇団前進座)など。ストレートプレイ、ミュージカルから古典 芸能までジャンルを問わず旺盛な執筆活動を展開している。脚本作品「てけれっつのぱ」(劇団文化座)が平成20年度文化庁芸術祭大賞を受賞。



プレトーク・朗読テキスト構成 小澤 和子 Pre-concert talks・Selection & translation of reading texts Kazuko Ozawa (Musicology)

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。同大学院修了。DAAD奨学生として渡独。1985年『ローベルト・シューマンのアーデルベルト・フォン・シャミッソーによる歌曲集のための資料研究』によりボン大学で博士号取得。1993~2004年シューマン研究所助手。2004~2005年ライプツィヒ大学非常勤研究員。2006年以来、フリーで研究活動。これまでに『新シューマン全集』Liederband 6 をMatthias Wendtと、同Studien-Skizzenbuch IIIをMatthias Wendtと共同校訂。『シューマン歌曲集』ヘンレ版を6作品校訂。論文多数。東京藝術大学音楽学部特別招聘教授。

東京藝術大学 奏楽堂〔大学構内〕

〒110-8714 東京都台東区上野公園 12-8 交通のご案内

- ■JR 上野駅 (公園口)・鶯谷駅 (南口) 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
- ■京成線京成上野駅

東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅 より 徒歩 15 分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

